

(新) 土壤環境リスクコミュニケーターの登録・研修等事業

19百万円(0百万円)

水・大気環境局土壤環境課

1. 事業の概要

土壤汚染のおそれがある土地についての調査や対策を円滑に進めるためには、土壤汚染対応の説明に対する土地所有者等の不安を払拭し、地域の関係者に、説明者の中立性、公平性の立場からの信頼を得ながら土壤汚染の現状と対策について情報伝達を円滑に進める、リスクコミュニケーションの推進が必要。

このため、長年土壤汚染調査・対策に従事して一線を退く方々の知識と経験を活かし、土壤汚染の調査・対策の現場のリスクコミュニケーションへの活用と人材育成の推進を図る。

具体的には、リスクコミュニケーションガイドラインの作成、人材育成プランの作成、人材登録・派遣・活用システムを検討・整備する。

2. 事業計画

調査項目	H19	H20	H21	H22
ガイドライン作成	←→			
人材育成、登録、活用システムの検討・実施	←			→
派遣システムの検討、整備		←→		

3. 施策の効果

土地所有者等の不安が払拭され、土壤汚染調査・対策が円滑に実施され、塩漬け土地の解消や土地の流動化、都市の再開発等が円滑化するとともに、高齢者・団塊世代に新たな活躍の場が生まれ、雇用促進が期待される。

# 土壤環境リスクコミュニケーターの登録・研修等事業

## 背景

土壤汚染対策に係るリスクコミュニケーションを担う人材不足  
土地所有者等のリスクコミュニケーションの不安が払拭されない  
土壤汚染対策が進まない現状(塩漬け土地化)

長年の知識・経験を活かし、住民に信頼されるリスクコミュニケーターを育成し活用

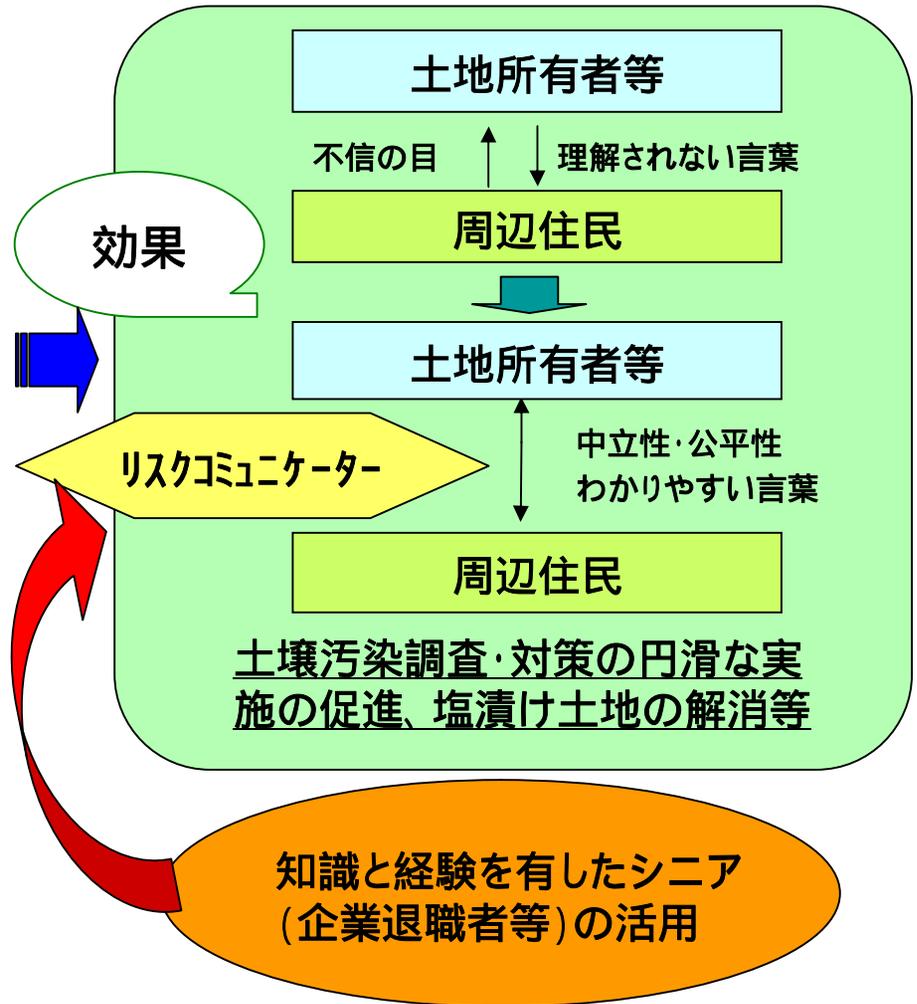
～ 土壤汚染対策に係るリスクコミュニケーションを担う人材の育成と活用の推進 ～

- リスクコミュニケーション技術の開発(公募・実証)
- リスクコミュニケーション・ガイドラインの作成
- 人材育成プランの作成
- 人材保有・派遣・活用プラン及びシステムの作成

モデル事業の実施とフィードバック

将来的には、リスクコミュニケーター認定制度(仮称)の創設の検討

## 効果



知識と経験を有したシニア  
(企業退職者等)の活用